

令和 6 年 1 0 月 2 2 日
教 育 部 文 化 課
0 4 3 8 - 2 3 - 5 3 1 4

マミヤク遺跡出土子持勾玉を市指定文化財に指定しました！

「マミヤク^{いせきしゅつど}遺跡出土子持^{こもち}勾玉^{まがたま}」を 9 月 2 4 日付けて市指定文化財（第 37 号）に指定しました。

子持勾玉は、大きい勾玉の腹や背に小さな勾玉を貼り付けた形をしており、古墳時代の祭祀に用いられた道具です。

今回、指定した子持勾玉は、現在の港南台一丁目付近にあるマミヤク遺跡から出土しました。マミヤク遺跡は、昭和 60 年度に発掘調査が行われ、子持勾玉に関連する古墳時代中期では、竪穴住居跡 41 軒・祭祀遺構 2 か所が明らかになっています。

この子持勾玉は滑石^{かっせき}で作られ、大型の勾玉の腹や背、側面に 8 つの小さな勾玉が削り出されています。古墳時代の祭祀の実態を考えるうえで、貴重な事例となっています。

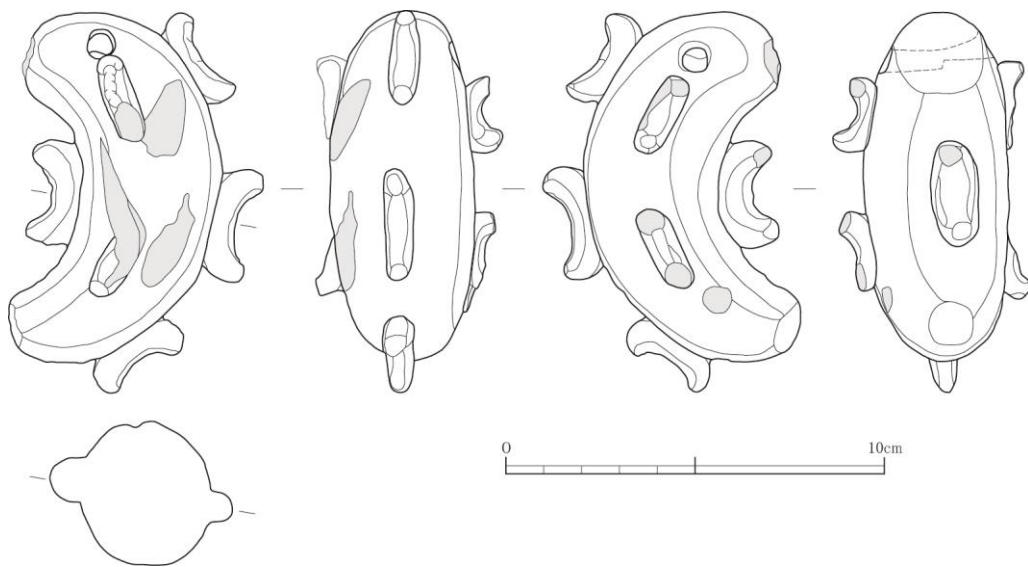
現在、子持勾玉は、木更津市郷土博物館「金のすず」で展示しております。

- 1 資 料 名 マミヤク遺跡出土子持勾玉
- 2 員 数 1 点
- 3 種 別 有形文化財（考古資料）
- 4 所 在 地 木更津市太田二丁目 1 6 - 2 木更津市郷土博物館金のすず
- 5 所 有 者 木更津市
- 6 製作時期 5 世紀
- 7 法 量 高さ 9.3cm、幅 3.5cm、厚さ 3.8cm、重さ 269.6g
- 8 石 材 滑石

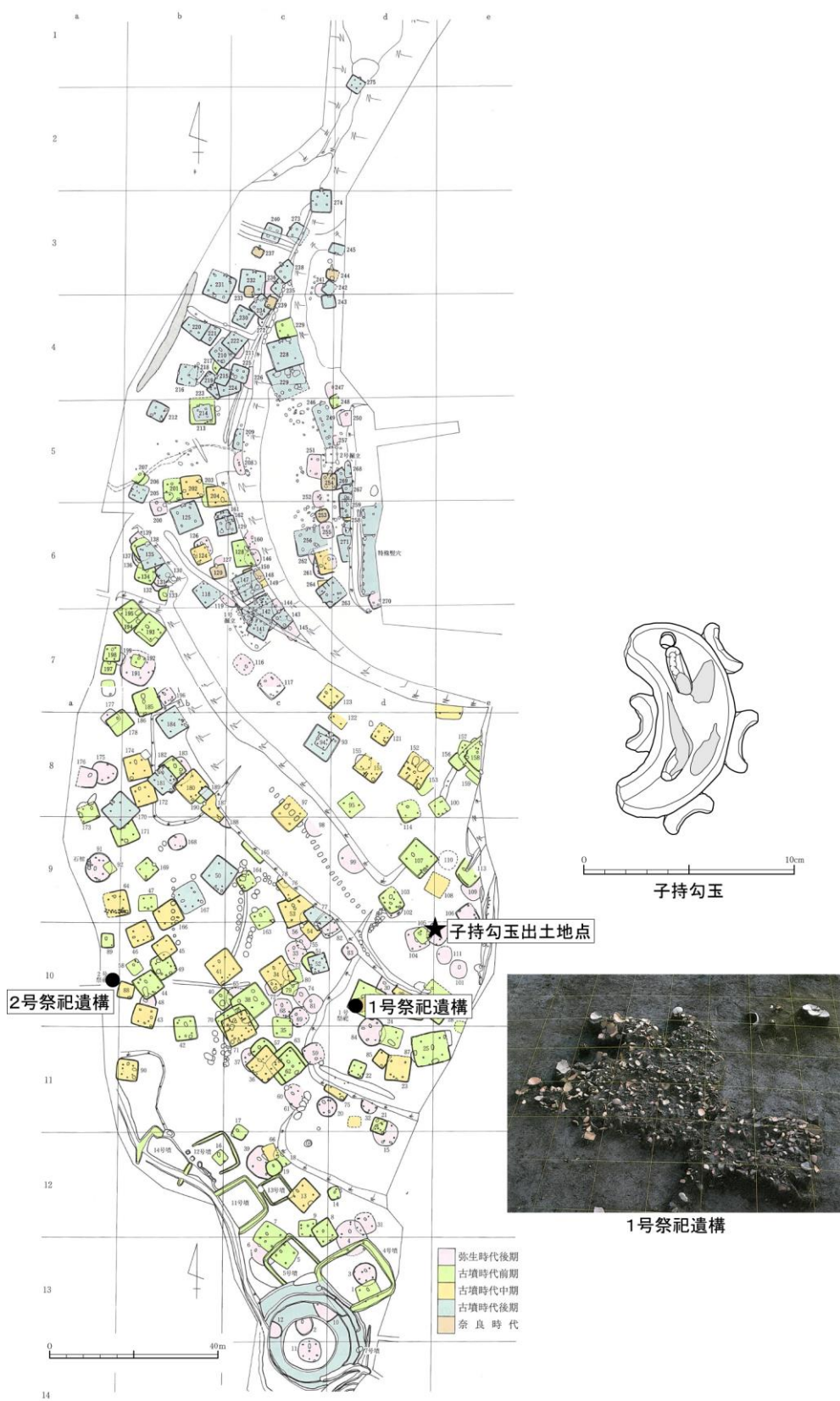




マミヤク遺跡出土の子持勾玉



子持勾玉実測図



マミヤク遺跡子持勾玉出土地点